

犬山城 一階

犬山城の天守は、居住区ではなく要塞として建てられましたが、1階には両方が混在しています。4つの部屋に分かれており、多くの防御機能が組み込まれています。

南側の城主の部屋（上段の間）には、信頼できない訪問者からの保護に役立つ戦士の隠れ場所（武者隠し）があり、高床と格間天井で豊かに装飾されています。

武者走りとして知られる回廊が部屋を囲み、城が攻撃を受けた場合に軍隊が集まるのに十分な広さです。木製の床はすり減っていますが、これは近年多くの人々が歩いたためです。

北西と北東の角には、石落としの間があり、そこから防御者は、急な城壁から侵入しようとする者に対して突然の攻撃を仕掛けることができます。

窓は外側に押し出され、角度の付いた木製のスラットで分割されているため、防御者は矢や弾丸を撃ち返し、逆火から守ることができます。